

徳島大学研究クラスター講演会

◆選定クラスター「微細結晶・重合体に起因する自然炎症が引き起こす健康被害に対するリスク評価法および治療薬の開発」

■日時：平成30年 **1月19日(金)** 16:30～18:30

■場所：藤井節郎記念ホール

[第一部：招待講演] 16:30～17:45

細胞外微粒子に起因する生命現象の解明とその制御

堤 康央 博士

大阪大学 大学院薬学研究科・薬学部 毒性学分野 教授
大阪大学 大学院薬学研究科長・薬学部長
大阪大学 栄誉教授

[関連する主要論文]

Nat. Nanotechnol 6 : 321 (2011)

Nat. Nanotechnol 6 : 321 (2016)

ACS Nano 10 : 8180 (2016)

[第二部：講演・活動報告] 17:50～18:30

**微粒子による健康被害の発症機序解明および
そのリスク評価法・治療薬開発**

齊藤 達哉 博士

徳島大学 先端酵素学研究所 炎症生物学分野 教授
徳島大学 研究クラスター「微細結晶・重合体に起因する自然炎症が引き起こす健康被害に対する
リスク評価法および治療薬の開発」クラスター長

●本研究クラスターが開催する講演会では、微粒子に関する解析を進めている研究者に最新の成果をお話いただきます。講師の堤博士は、新規化学物質や環境汚染物質などが引き起こす生体応答の解明を基盤とする安全性予測・評価法の開発において、素晴らしい業績をあげている研究者です。本講演会では、近年精力的に進めている「細胞外微粒子が引き起こす生体応答の解明とその制御に関する研究」をご紹介します。また、本講演会の第二部ではクラスター長の齊藤が、「微粒子に起因する健康被害について、発症機序、リスクの評価、治療薬」の観点からこれまでに進めてきた研究を紹介するとともに、研究クラスター活動に関する報告も行います。急速に開発が進んでいるナノマテリアル、黄砂などの環境汚染物質、βアミロイドなどの重合体、尿酸塩結晶などの代謝物結晶による健康被害は、様々な分野において重要な研究課題となっています。医歯薬学研究に携わる皆様にとって、最先端の研究に触れる貴重な機会になると存じますので、ぜひご来聴ください。

●本講演会は、大学院特別講義を兼ねています。大学院生の皆様も、ぜひご来聴ください。

連絡先

先端酵素学研究所 炎症生物学分野

齊藤 達哉 (内線2540)

saitohtatsuya@tokushima-u.ac.jp